

令和4年度 北毛地区小学校体育科授業研究会レポート

期日 令和4年11月25日(金)

会場 渋川市立長尾小学校

単元名 サッカー

指導者 浅井 政則

3年ぶりに北毛地区授業研究会が渋川市立長尾小学校で行われ、浅井政則先生が授業を提供してくださいました。今回取り上げてくださった授業は、6年生の「ボール運動 ゴール型 サッカー」です。作戦ボードを使いチームごとに作戦を考え、児童が主体的に動く姿が見られた授業でした。

チームで声をかけ合い、全員が「メインゲーム」を楽しんでいた姿が印象的でした。



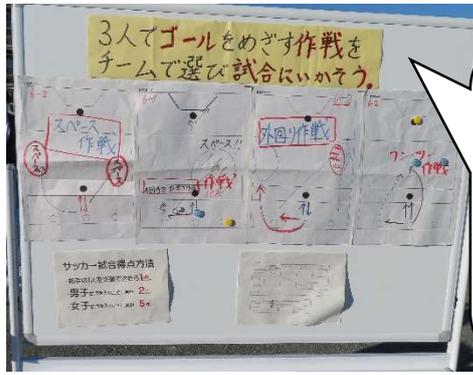
コートやゴールの形(台形型)を工夫したことで、サイドからのシュートも可能にしました。



チームごとにドリルゲームをしました。鬼ごっこ→手でのパス練習→キックパス→シュート練習を行いました。全員の児童が意欲的に取り組んでいました。

アップ係の児童を中心にアップをしました。アップ係以外にもリーダー、用具係、ゼッケン係があり、全員に役割が与えられました。





本時のめあては「3人でゴールをめざす作戦をチームで選び、試合にいかそう」です。前時までに行った作戦も確認しました。

チームごとに作戦ボードを使って作戦を考えました。活発的にいろいろな作戦を考えることができました。その後、タスクゲームで作戦の動きを確認しました。



3対2のメインゲームを行いました。男子は2点、女子は5点と男女で得点差をつけることで、全員がゲームを楽しむことができました。また、どのチームもたてた作戦を実行しようと頑張っていました。その後、チームごとに本時の振り返りをしました。



この授業は、体育授業プログラムを活用することによって、サッカーが苦手な児童も楽しく活動できるよう工夫がたくさんされていました。メインゲームを簡略化し、攻守を分け、人数を3対1にしたことでやる事が明確になり、落ち着いてプレイすることができました。また、ゴールを台形型にしたことで作戦の幅が増え、いろいろな作戦をたてることができました。作戦を考える場面では、児童の主体的な学びを引き出すため、作戦ボードを使い活発的な話し合いが行われていました。児童が主体的に活動し、サッカーを楽しんでいる姿が印象的でした。

授業を提供してくださった浅井先生、渋川市立長尾小学校の先生方をはじめ、研究開催にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責 渋川市立小野上小学校 佐藤潤一)